

政府と東電は、2回目の「事故汚染水」の海洋放出を中止せよ！ 政府とマスコミが一体となった虚偽の「安全宣伝」を止めろ！

汚染水の第1回放出は8月24日から9月11日まで約7800トン海水で約100倍に希釈して放出したという。100倍の海水と混ぜた78万トンもの大量の「希釈汚染水」を放出したことになる。そして東電は10月5日から23日まで第2回目の放出を開始した。東電や環境省、IAEAなどが放出口周辺で海水のトリチウム濃度を測定し「運用限度」以下であると発表し、水産庁は放出口付近で、ヒラメやマダイ、トラフグを捕獲し、汚染はなかったと発表している。

水産庁は水産物は安全だと宣伝し、中国輸出が止まった魚介類について、百貨店やふるさと納税会社は、水産物の特売を進めている。そしてマスコミはその宣伝に躍起となっている、福島漁業者が「汚染水の放出を1日でも早く止めて、漁業が続けられるように」との思いは無視されている。水俣病でもイタイイタイ病でも、福島の甲状腺癌でも、1月や1年では被害は顕在化しない。しかし汚染は確実に積み重なり、悲劇を生むことは歴史が示している。

マスコミは政府のお先棒を担いだ宣伝ではなく、現実の汚染の蓄積やその危険性を調査して報道すべきだ。

対馬市、寿都町への最終処理場の押し込み 上関への中間貯蔵施設の建設反対！

9月27日、対馬市の比田勝市長は「高レベル放射性廃棄物」=いわゆる「核のゴミ」の最終処分地の調査について「応募しない」との態度を表明した。市議会は推進派が多数を占め、来春には市長選が予定されていて今後については予断を許さない。対馬は漁業が基幹産業であり年間漁獲高約160億円への悪影響、最盛期には40万人を越えた韓国からの観光客への悪影響も考えられる。

10月3日には、最終処分地選定の文献調査が進む北海道寿都町(すつ)で町議選があった。反対派が4人、残りの5人のうち、精密調査に進むが2人、最終処分地受け入れが1人。「20億円の交付金」の食逃げ論である。

「上関原発を建てさせない山口県民連絡会」は9月6日に「上関『中間貯蔵施設』の建設中止を求める署名」を全国に呼びかけている。11月末に第二次締切りが予定されている。署名用紙が必要な方は連絡ください！！

核燃料行き場はないぞ！全国集会

政府は使用済核燃料は再処理ために中間貯蔵すると言う。電力会社はゴミでなく資産として計上する。実際には何万年も危険な核ゴミの行き先はない！

日時:10月22日(日)15:00~
場所:大阪関電本社前 →デモで梅田



沖縄県の「決定権」を剥奪するのは憲法違反だ！ 政府が辺野古新基地の「設計変更申請」を勝手に承認する「代執行」

辺野古新基地建設の埋立て工事の設計変更を防衛省が2020年4月に申請し、沖縄県は調査不十分として不承認。それに対して防衛省が国交省に「不服審査」を提出し、国交相は22年4月に不承認を取り越す「裁決」が行なわれ「是正指示」が出た。これに対して沖縄県がそれらを違法として取り消しを求めて提訴した。それぞれについて8月24日、9月4日に最高裁は上告を棄却した。地方自治の権限を国家が司法を利用して剥奪した。



防衛省は判決後すぐに、沖縄県に「承認する」ことを、9月28日を期限に勧告し、次には10月4日を期限に指示した。沖縄県は国交相に「県民や政治学者からの意見を分析して対応するには期限までに承認するのは困難」と回答した。

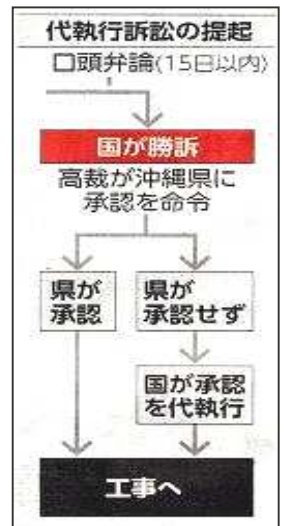
地方自治は憲法が規定する権利であり、それは住民の意見を反映するものである。まさに玉城知事の対応が正道である。

政府はまともな論議の場も意見の聴取もないまま、一方的に5日に福岡高裁へ、国が県の権限を奪う「代執行」を求める訴訟を起した。これは民主主義に反し憲法に反する暴挙である。

11月23日には沖縄と連帯する大阪集会在呼びかけられている。

国連人権理事会で玉城知事が米軍基地問題を演説

沖縄県の玉城デニー知事は、9月18日に国連欧州本部で開かれた国連人権理事会で「在日米軍基地の沖縄集中の現状、緊張を高める軍事力増強」「辺野古新基地の建設問題についての反対の民意が顧みられていない」と訴えた。また今回の沖縄の自治権を剥奪する最高裁や政府の決定について民主主義の基本である地方自治を破壊するものと訴えた。



沖縄を再び戦場にさせない！
沖縄県民大会同時集会在 in おおさか
日時: 2023年11月23日(木・休)
場所: 西梅田公園
14:00開会 15:00開演 終了後、デモ出発
主催: 沖縄県民大会同時集会在 in おおさか

ニジェールから仏軍ついに撤退 (朝日 9/28)

旧宗主国である仏軍が駐留し、米軍の無人機基地とされているニジェールから仏軍が撤退することになった。アフリカのサハラ砂漠南部のサヘル地域では政変が続き、仏軍による介入に反対し、仏軍の撤退要求が相次ぐ。

全米自動車労組ストを拡大して闘争 (毎日 10/2)

自動車大手3社とストライキで賃上げを要求している全米自動車労組(UAW)は、GM とフォードの2工場を追加してストに突入させた。これで43拠点、約3万人が参加。クライスラーなどを傘下にもつステランティスとは交渉が進行中としてストの拡大は見送った。

旧型トマホークを取得 1年前倒しへ (朝日 10/5)

訪米中の木原防衛相は8月4日に、オースティン米国防長官と会談した。日本が2026年に導入予定の巡航ミサイル「トマホーク」について、1年前倒して、最大400発のうち半数を1世代前の旧型トマホークで購入すると決定。

報告 10/9 あかんやろ! カジノ女性パレード



市民の声を無視した認定に抗議し、第7回の女性パレードが開かれた。大学生の若者も参加して、本町から難波までの御堂筋を130人で行進した。

報告 10/9 ガッツせんべい/人権侵害中間報告



久保さんは挨拶のなかで「一人の主権者としてやっていくこと」、「おかしいことはおかしいと言うこと」の重要性を実感していると述べられ、応援団から調査報告と講演が行なわれた。

案内 10/26 日本の台湾侵略

明治維新の直後に台湾に出兵し、日清戦争で台湾を植民地に(1895)、それから50年の植民地統治の闇を解説し、現在言われる「台湾有事」にも。日時:10月26日(木)18:00~ 場所:国労大阪会館 3F 中会議室



報告 9/29 原発いらナイト in 宝塚 126 回目



9月29日は13人もの参加でチラシ配布を行った。東電の汚染水の放出、関電の中間貯蔵問題、怒りのチラシは瞬間に150枚配布された。

報告 10/6 山本太郎 減税! 減税 in 十三

大阪の十三で山本太郎さん主催の「増税? ダメ、絶対! デモ」が開かれた。約400人の市民が参加した。デモの終点では「おしゃべり会」に500人以上が参加して開かれた。



報告 10/7 森友事件は未解決! 怒りのデモ 第74回

9月13日大阪高裁、14日地裁は森友問題裁判で、赤木さんに対する判決=真相隠しへの加担を行なった。これに抗議して40人近い参加で怒りの集会が開かれ、市内をデモ行進した。



報告 10/8 日本軍は何をしてきたのか..

日本軍は真珠湾攻撃で米・英と戦争を開始したが、同時に「南進」と称してベトナム、マレーシア、フィリピン、インドネシアへ侵略し、ギルバート諸島、エリス諸島などを侵略した。そのなかでも国際的にも有名なバナバ島と住民の悲劇がおこり、戦後も悲劇は今も続いている。北口さんはそれを多面的にビジュアルに解説された。

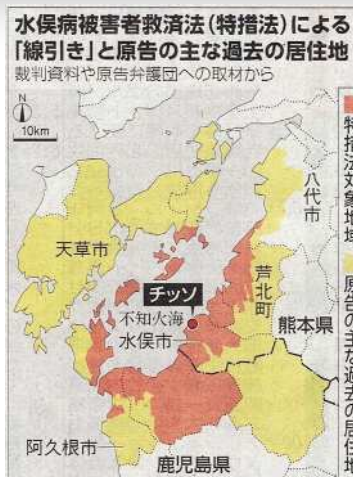


報告 10/8 夢洲 IR・カジノ市民公聴会は大成功

生野区民センターに500人超が集まった。国府市は欠席したが、住民側の公述人からは、カジノ計画がすでに破綻していること、住民の生活を圧迫していることが報告された。引続き闘おう!



「救済法」対象外の全員を「水俣病」と認めて、国とチツソに賠償命令



メチル水銀で汚染された不知火海沿岸で生活していたのに「被害者救済法」の線引きで救済が拒否されてきた住民が「水俣病」と認め賠償を要求してきた裁判で、大阪地裁は9月27日に全員を認めた。戦争被害を軍人だけに限定、広島での「黒い雨訴訟」、福島原発被害者の「避難地域の限定」など、責任と補償を最小限にする国家の常套手段である。不当にもチツソが上訴したので闘いは続く!

報告 ハンセン病資料館学芸員不当解雇 撤回闘争に中央労働委員会で勝利和解

患者団体が苦難の中で作り上げてきたハンセン病資料館を、政府が委託した笹川保健財団によって実質的に破壊されようとしたことに反撃し闘ってきた稲葉さんと大久保さんを不当解雇したこととの闘いで、中労委で「勝利的和解」を勝ち取られたとの報告があった。



・2人の職場復帰は叶わなかった。
・組合活動の保障
・組合意見の反映
・和解金の支払い
詳細は次号で